

ネコの命、真剣に向き合えていますか？

猫に関する苦情や相談が多く寄せられます。周りに住む方への配慮を忘れず、マナーを守って飼育しましょう。

▼問い合わせ 町民環境課 (019-611-2506)

屋内飼育に努めましょう

屋外の環境は猫にとって、感染症や交通事故、猫同士のけんか、予測しない繁殖、迷子など、多くの危険があります。猫の安全を守り、近隣の方とトラブルにならないために猫は屋内で飼育しましょう。

不妊去勢手術をしましょう

猫は繁殖力が強く、管理を怠るとあっという間に増えてしまいます。実際、手術をしていなかったために多頭飼育に陥り、管理できなくなる「多頭飼育崩壊」が問題になっています。「そのうち・・・」ではなく、飼い始めたらすぐに動物病院に手術時期を相談してください。

飼い主が分かるようにしましょう

迷子や災害に備え、首輪にあなたの連絡先を書いた名札を着けておきましょう。首輪がはずれた場合のために、マイクロチップ（個体識別番号を記録したICチップ）を皮下に埋め込む方法もあります。

野良猫への無責任な餌付けはやめましょう

野良猫にエサを与えると、その猫がその場所に居つくようになり、ご近所の敷地内で排せつするなど、トラブルに発展する恐れがあります。エサをあげる以上、あなたが飼い主となります。むやみに繁殖しないよう避妊去勢手術を施したり、近隣の方に迷惑をかけないようにエサや排せつ物の回収もしなければなりません。

最後まで責任をもって飼いましょう

ペットを飼育する際は、その命が終わるまで世話を続けることが原則です。飼い猫の年齢や病気などを理由に手放したりしてはいけません。最期まで愛情を持って飼育しましょう。万が一、飼えなくなった場合には、責任をもって新しく飼ってもらえる飼い主を探しましょう。あなたが病気をしたり、ペットよりも先に亡くなる場合に備えて、引き取れる方を探しておくことも大切です。

7月1日 国民安全の日

住宅防火いのちを守る 10のポイントを実践しよう

▼問い合わせ 盛岡南消防署矢巾分署 (019-697-0119)

4つの習慣

- ①寝たばこは、絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- ①火災の発生を防ぐため、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する
- ②火災の早期発見のため、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③火災の拡大を防ぐため、部屋を整理整頓し、寝具、衣類、カーテンは防災品を使用する

- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

盛岡南消防署矢巾分署では、初期消火などの消防訓練の受付を随時行っていますので、お気軽にご相談ください。